

専門研修プログラム 内科（基幹）

当院の内科専門研修（基幹）プログラムを紹介します。

当院での研修の特徴

豊富な症例数で迅速かつ確実な症例数確保

当院は症例数が豊富で稀少疾患も経験できますので、専門医取得に必要な症例数の確保に適していると思います。早期に症例確保ができればサブスペシャリティの並行研修も充実させることができますので、次のステップも見据えての研修ができると思います。

専門研修施設群

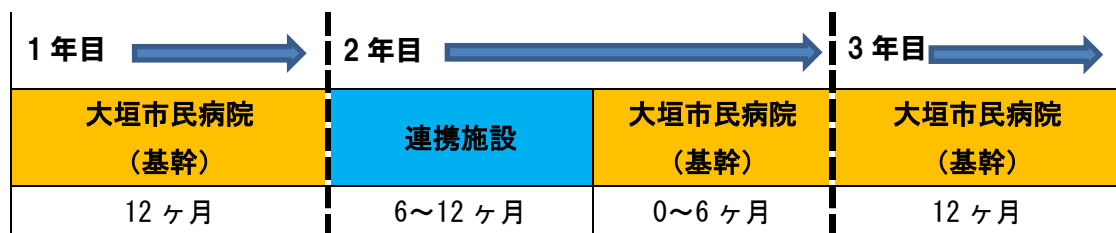
連携施設（7施設）	地域医療研修病院	（愛知県）一宮市立市民病院・海南病院・ 稲沢市民病院・総合大雄会病院 （岐阜県）揖斐厚生病院
	高次機能・専門病院	名古屋大学医学部附属病院・愛知医科大学病院

※当院は、大学病院の連携施設でもあります。

症例数（2016年度）

診療科	入院患者実数（人/年）	外来延患者数（人/年）
消化器内科	17, 154	2, 070
呼吸器内科	7, 991	1, 298
循環器内科	11, 047	2, 088
糖尿病・腎臓内科	6, 246	664
血液内科	2, 066	380
神経内科	5, 652	825
総合内科	4, 689	231

研修のモデル



基幹施設である大垣市民病院で、専門研修（専攻医）1 年目、3 年目と 2 年目の 0～6 か月の合計 2～2.5 年間の専門研修を行います（逆に連携施設 2～2.5 年間 + 基幹施設 0.5～1 年間もあります）。

専攻医 1 年目の秋に専攻医の希望・将来像、研修到達度およびメディカルスタッフによる 360 度評価（内科専門研修評価）などを基に、専門研修（専攻医）2 年目の研修施設を調整し決定します。

2 年目の半年～1 年間、連携施設で研修をします。

なお、研修達成度によっては Subspecialty 研修も可能です（個々人により異なります）。

指導医

当院の内科領域の指導医は、現在 18 名在籍しています。

（日本内科学会指導医 18 名、日本内科学会総合内科専門医 12 名）

研修施設群全体の指導医は、276 名です。

診療科及び役職		指導医名
消化器内科	副院長	熊田 卓
	部長	桐山 勢生
	部長	谷川 誠
	部長	久永 康宏
	部長	豊田 秀徳
	医長	金森 明
	医長	北畠 秀介
呼吸器内科	部長	進藤 文
	医長	安部 崇
	医長	中島 治典
	医長	日比 美智子
循環器内科	副院長	坪井 英之
	部長	森島 逸郎
	医長	森田 康弘
糖尿病・腎臓内科	部長	傍島 裕司
	部長	大橋 徳巳
血液内科	部長	小杉 浩史
神経内科	部長	三輪 茂

募集について

- ◆定員 8名（1学年）
- ◆選考方法 書類選考及び面接試験を行います。
- ◆詳細な[募集要項はこちら](#)
- ◆病院見学の希望については、[こちらへ](#)
- ◆その他のお問い合わせについては、以下へお願いします。

大垣市民病院 事務局庶務課 人事グループ 担当：高木

TEL:0584-81-3341 （内線：6133）